
せんかん ニュース

第 6 号

千葉・関東地域社会福祉史研究会 会報誌

2016 年 7 月 25 日

千葉・関東地域社会福祉史研究会事務局
〒260 - 8701 千葉県千葉市中央区大巖寺町 200
淑徳大学アーカイブズ内
TEL 043-265-7526
URL <http://book.geocities.jp/chibakantof/>
E-mail archives@soc.shukutoku.ac.jp

今号は第 11 回研究総会（2016 年度）について報告します。

○第 11 回研究総会

[日 時] 2016 年 7 月 16 日（土） 14 時～16 時 45 分

[場 所] 淑徳大学東京キャンパス 2 号館 2 階 2-1 教室

[出席者] 長谷川匡俊, 梅原基雄, 山本世紀, 佐々木光郎, 桜井昭男,
土井直子, 森田喜久男, 古宇田亮修

[書 記] 栗盛牧子

・はじめに, 梅原基雄会長より開会の挨拶がなされ, 会員の石橋幹雄氏逝去（本年 3 月）の報告がなされ, 同氏に対する黙祷が捧げられた。

・次いで長谷川匡俊顧問より挨拶がなされた。研究会としての目標（例えば, 埼玉県や茨城県の社会福祉史をまとめる）を明確化し, 実現に向けて動くことが可能であるとの趣旨。

[議題 1] 2015 年度事業報告について

・古宇田会員より「第 1 号議案」資料により報告がなされ, 一同承認した。

「第 1 号議案」資料

1. 研究総会

第 10 回研究総会

日時 2015 年 7 月 18 日（土）12 時～17 時

会場 東京大学史料編纂所中会議室

内容 総会 2014 年度事業報告・決算報告, 2015 年度事業計画・予算の審議

研究発表 1 「社会福祉史研究のあゆみとその課題」(宇都榮子)

研究発表 2 「明治初年の育児事業と新治県共立義社」(桜井昭男)

研究発表 3 「明治前期における秋田感恩講の存続をめぐって」(庄司拓也)

2. 運営委員会

本年度は以下の通り運営委員会を実施した。

2015 年 5 月 16 日（土）於・淑徳大学東京キャンパス

10 月 17 日（土）於・池袋喫茶店

12 月 19 日（土）於・アット・ビジネスセンター池袋駅別館

3. 研究誌

『千葉・関東地域社会福祉史研究』, 第 40 号, 2015 年 12 月発行

〔目次〕

巻頭言 『千葉・関東地域社会福祉史研究 第 40 号』発刊に際して
(梅原基雄)

①論文 1 「『日誌』からみる昭和戦時体制下の埼玉育児院Ⅱ：太平洋戦争下の育児院と子どもたち」(佐々木光郎)

②論文 2 「明治初年の育児事業と新治県共立義社：平山仁兵衛との関係を通して」(桜井昭男)

③論文 3 「神奈川県における社会委員制度の創設と整備」(庄司拓也)

④論文 4 「福田会育児院の里親委託（2）」(菅田理一)

⑤施設探訪 6 「埼玉育児院（埼玉県川越市）：愛を養育の基盤として」
(菅田理一)

⑥報 告「研究会活動報告」

4. 地域社会福祉史研究会連絡協議会

2015 年 11 月 14 日（土），研究交流会（於淑徳大学東京キャンパス）では，

当会から、2名が発表した。

- ①「茨城県における方面委員について」（梅原基雄）
- ②「（中間報告）静岡県における方面委員制度の実態史：創設期から太平洋戦争勃発ころまで」（佐々木光郎）

[議題2] 2015 年度決算・会計監査報告

- ・土井会員より「2015 年度千葉・関東地域社会福祉史研究会決算（案）」により報告がなされ、一同承認した。
- ・長谷川会員より、個人研究費による印刷代の支出について、会計報告に何らかの形で反映させるよう提言があった。この件について、運営委員会において協議する事に決定した。

2015 年度決算

収入の部 (単位：円)

科 目	決 算 額	摘 要
1 前年度繰越	522,175	
2 年会費	92,000	会員 21 名
3 雑収入	1,500	会誌 1 冊販売
合 計	615,675	

支出の部 (単位：円)

科 目	決 算 額	摘 要
1 通信費	30,115	郵便代他
2 会議費	12,972	
3 会誌 40 号印刷費	85,752	
4 次年度への繰越	486,836	
合 計	615,675	

[議題3] 2016 年度事業計画・予算案について

- ・古宇田氏より「第2号議案」資料により説明がなされ、一同承認した。

「第2号議案」資料

1. 研究総会

第11回研究総会

日時 2016年7月16日(土) 14時～17時

会場 淑徳大学東京キャンパス2号館2階2-1教室

内容 (以下略)

2. 運営委員会

運営委員会は前年度同様数回程度開催し、会の運営について検討、意見交換を行う。

3. 研究誌

『千葉・関東地域社会福祉史研究』第41号を2016年12月に発行する。

4. 会報

『せんかんニュース』第6号を発行する。

5. 地域社会福祉史研究会連絡協議会

2016年11月19日(土) 研究交流会開催予定(於・淑徳大学東京キャンパス)。

2016年度予算

収入の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
1 年会費	144,000	会員37名(内団体会員2)
2 前年度よりの繰越金	486,836	
合 計	630,836	

支出の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
1 通信費	30,000	郵便代他
2 印刷製本費	200,000	研究誌41号発行
3 消耗品費	10,000	例会資料印刷等
4 地域連絡協議会分担費	15,000	
5 事務雑費	10,000	発送手数料、謝金等

6 予備費	365,836	
合 計	630,836	

[議題4] その他

①役員改選及び規約改正の件

- ・桜井会員（事務局）より役員の任期を2年から3年に変更するよう、提案がなされ、一同承認した（会則第7条3）。
- ・桜井会員より新役員案が提示され、新役員が承認された（互選：2016～'18年度）。

2016～2018 年度千葉・関東地域社会福祉史研究会役員

役職	氏 名
会 長	梅原 基雄
顧 問	長谷川匡俊
事務局長	藤森 雄介
庶 務	桜井 昭男（事務局）
運営委員	佐々木光郎，古宇田亮修，庄司拓也，菅田理一
幹 事	宇佐美正利，土井直子

②今年度の地域社会福祉史研究会交流会の件

- ・今年度の地域社会福祉史研究会交流会の日程・場所について、11月19日（土）・淑徳大学東京キャンパスでの開催に決定したことが報告された。

③新規会員募集の件

- ・桜井会員より会員数の動向について説明がなされた。
（現会員数 個人会員34名，団体会員2機関）
- ・梅原会員より，個人宛に勧誘を行うよう提言があった。
- ・長谷川会員より，講読会員の募集を行うよう提言があった。これについては，本年度中に見本誌と共に購読会員の募集を行うことに決定した。

- ・古宇田会員より，総会・運営委員会のスカイプ中継を行うよう提言があった（淑徳大学・東京キャンパスでは4号館のみインターネット使用可能）。

[研究発表]

以下の2件の研究発表がなされた。

1) 佐々木光郎会員「埼玉県における方面委員制度の展開」

長谷川会員，山本会員より質疑応答がなされた。

2) 土井直子会員「関東大震災とバラック事業」

長谷川会員，梅原会員より質疑応答がなされた。

閉会の辞は，梅原会長よりなされた。本年度の会誌への論文投稿が呼びかけられた。（16時45分閉会）

編集後記

長らくニュースの発行が滞っていましたが，
今後は年に1回は発行していく所存です。社会
福祉史に関する話題提供等がございましたら，
ご投稿のほどお願い申し上げます。

また，研究誌第41号への論文または施設探
訪などの原稿を募集しております（2016年11
月末日締切）。